

# 切磋琢磨Ⅲ

## 野外活動 at 二川小学校 大成功！たのしい5年生！すばらしい団結力！

野外教育活動をぜったいにやりたい！

6月に予定していた5年生の野外教育活動。コロナの影響で豊橋市の1学期の野外活動が全部中止となってしまいました。どうしても5年生に野外活動を体験させてあげたいと、夏休み前から学校でのキャンプを企画してきました。

コロナ感染のことをふまえて、学校にてデイキャンプで行うことにしました。この活動を校訓にある3つの姿をめざした活動として位置付けて、11月2日に実施しました。

### 5年生の思いが活動前から浸透して

野外活動に向けて、5年生の動きがみるみる変わってきました。就学時健診のための会場づくり。先生の指示に従い、あっという間に完成。担当の先生がその手際よさに驚き「先生、この子たちは指示なくても、こうやって会場を作って！と言えば、全部自分たちでできると思います」と報告がありました。事前指導で真剣に聞く姿。しおりを見て確認する姿。防災用の食事を準備し、いよいよ野外活動本番です。学校での野外活動は初めてのことです。どんな活動になるのか、本番までにわくわく感が増していきました。

### 「助け合いだから」の言葉に心温かくなりました

まずは火起こしと防災用昼食づくり。マッチを使ったことのある子はほとんどいません。与えられたマッチを使い切ってしまう、火が起こせなくなった班がいくつかありました。すると、火起こしに成功した班の子が「助け合いだから火をあげてもいいんじゃない？」と声をかけました。



「助け合い」この言葉にどんなに多くの子が救われたでしょう。おかげで、全班火起こしに成功し、おいしい昼食を口にすることができました。まきは、少年自然の家の鈴木村長さんが燃やしやすいようにと前もって乾燥させて、5年生のためにくださったものです。感謝です。すすをとるのが大変でしたが、どの班も協力して片付けまでしっかりと行うことができました。一人じゃ大変なことも、みんなで協力すればできることを体感した食事作りでした。

### 4年で学んだ「防災学習」を生かそう

午後からの防災講座では、①避難所での生活を想定した間仕切りづくりやテントでの生活②災害に関するクイズとおして防災知識を身につけるための2つの講座を受けまし

た。すでに、4年の総合で学習しているためか、自助・共助についての知識をたくさん持っている子が多くいました。

今回は、さらに市防災危機管理課の職員から公助の視点で教えていただきました。今は、コロナ感染のために、災害時に避難所に来るのはなるべく避け、知人を頼って避難することを勧められました。これからは「With コロナ」で、三密を避けた避難も必要だということを学習しました。



この間仕切りで  
家族みんなが寝ると  
狭いね！

生き抜く力を身につけよう！

### 雨にも負けず、盛り上がったキャンプファイヤー

防災食づくりまでは我慢してくれた雨でしたが、残念ながらキャンプファイヤーは運動場で行うことができませんでした。しかし、そんな雨には負けていない5年生。先生たちが企画をして、ダンスやゲームをしながら大盛り上がりでした。「〇〇のいいところ」をたくさん発表もできました。

最後のトーチトワリング。休み時間を使って、みんなで技を磨くことと心を合わせることを意識して練習を重ねました。当日は、息を合わせて素晴らしいトワリングを見せ、その成果を発揮できました。みんなから拍手喝采を受けました。



### 感謝の心も育みました

この野外活動が大成功だったのは、たくさんのサポートがあったからこそ。友達、家族の方々、鈴木村長さん、市の職員のみなさん、先生たち…。感謝する心も学びましたね。活動中は「ありがとう」の言葉もあちこちで行き交い、私自身も心が温かくなりました。ファイヤー最後のサプライズ。校長先生は大感激でした。5年生の皆さん、ありがとう。この野外活動での大きな成長を自信として、「えがお」を忘れずに、これからもみんなで楽しい学校生活を送りましょう。